

第4回ワークショップ

(フードチェーンにおける食の安全安心と信頼)

4回目のテーマ：フードチェーンにおける食の安全安心と信頼

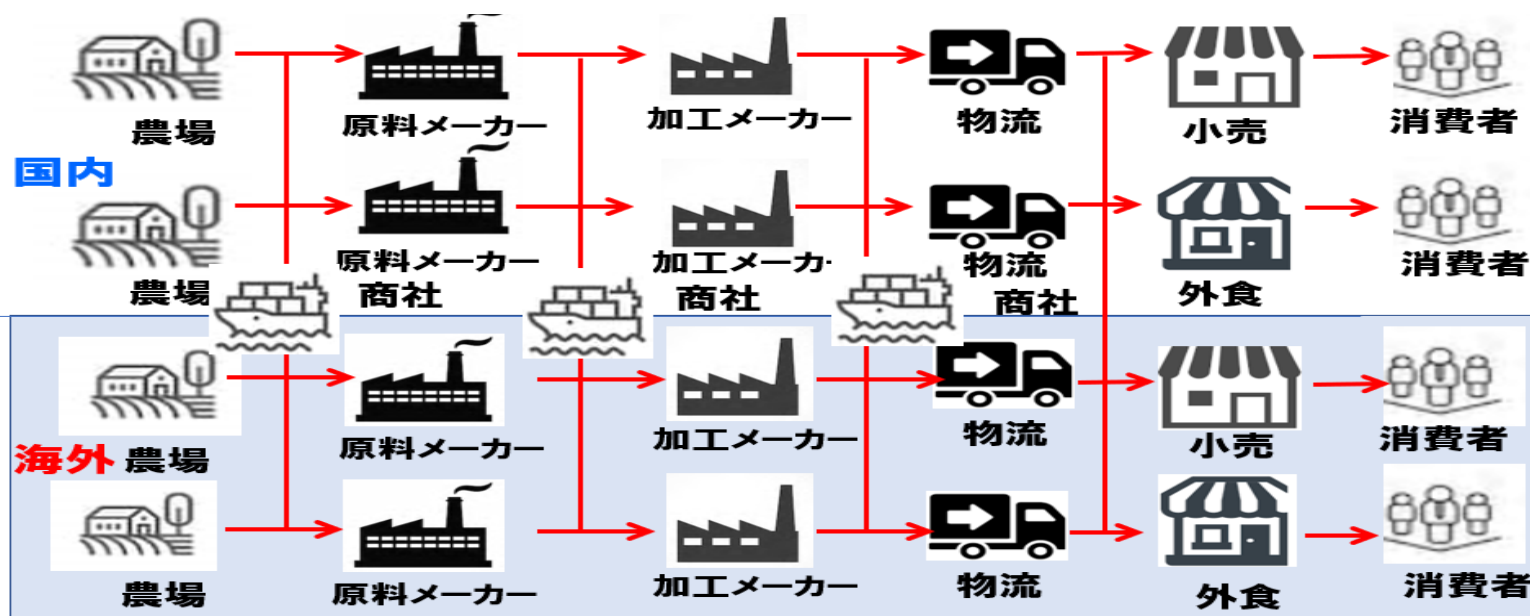
【ねらい】

我々の周囲の様々な「認証の仕組み」※の内容と運用から、「認証の仕組み」に取り組む背景と理由、実際に取り組んだ結果どのような効果が得られたか、生じた課題等を意見交換することで、フードチェーンにおける食の安全安心と信頼のあり方について考える

※ここでいう「認証の仕組み」の対象は「自社の製品・サービスや取組みが所定の規格をクリアする証」の機能を果たすものをいい、公的、民間の認証、基準など、ISO、JIS、JAS、MSC、GI、オーガニック認証、レインフォレスト・アライアンス認証、機能性表示食品等、幅広い対象とします

「認証の仕組み」に取り組む背景

1. フードチェーンの広域化と集約化が進行する中で、食品の品質・衛生をはじめさまざまな分野で「**効率化**」への対応が、加速度的に要求されている
2. また、多様化の中で、持続可能な社会に対応するための、さまざまな環境や人権、配分など社会的責任を果たすための目標とその具体的な行動を、「**共通の指標**」と「**客観的な視点での評価を受ける**」仕組みが整備されつつある



4回目のテーマ：フードチェーンにおける食の安全安心と信頼

講演

- 国内外の食品安全に関する動きや規格認証について
- 規格認証を活用した品質管理の取組



ワークショップ

前半 我々の周りの「認証の仕組み」と取り組む理由

後半 「認証の仕組み」に実際に取り組んだ結果、どのような効果が得られたか、生じた課題を話し合っまとめる

フードチェーンにおける食の安全安心と信頼

ワークショップ用
事前課題フォーマット



あなたの周り(会社、取引先など)で取り組まれている(取得している)「認証の仕組み」※を2つ挙げて、それに取り組む理由を書いてください。※「認証の仕組み」とは「自社の製品・サービスや取り組みが所定の規格をクリアする証」の機能を果たすものをいい、公的、民間の認証、基準などを含みます (P.2参照)

Q チーム

記入者： 山田 一郎

認証の仕組み(記入例)

ISO 14001

取り組む理由

(記入例) 会社が環境への悪影響を与えていないことを株主や会社がある地域の方々(利害関係者)に知っていただくため

フードチェーンにおける食の安全安心と信頼

ワークショップ・チーム別取りまとめ
フォーマット



認証の仕組みを2つ挙げ、実際に取り組んだ結果どのような効果が得られたか、生じた課題を話し合っ
てまとめてください

Q 班

記録者

佐藤 次郎

発表者

鈴木 三郎

認証の仕組み	得られた効果	生じた課題
<p>(記入例) ISO 14001</p>	<p>対事業者： 全社で環境保全への取組みの大切さとその取組みについて勉強する機会が設けられたこと 対消費者： 取引先、お客様と取組みやイベントを通して関係が深まったこと</p>	<p>対事業者： 環境保全に関する他の認証スキームを要求される場合があり、それに整合させる必要がある 対消費者： 商品との関連を説明できず、消費者に認証の意味も伝わりづらい</p>